

議会だより



千葉県指定無形民俗文化財 水神社永代大御神楽

おもな内容

- ★議案内容と審査結果……………P 2～3
- ★主な議案質疑……………P 3
- ★第4回定例会の日程……………P 3
- ★請願の審査結果……………P 3
- ★一般質問……………P 4～9
- ★常任委員会の審査……………P 9～12
- ★行政視察報告……………P 10～12
- ★議会のうごき……………P 12

第4回定例会のあらまし

平成22年第4回定例会が、11月26日から12月13日までの18日間の会期で開かれました。

この定例会には、平成22年度一般会計補正予算、特別会計補正予算、条例の新規制定や一部改正、工事請負契約の締結など11議案が市長より提出され、いずれも原案のとおり可決・同意されました。

12月2・3日には、一般質問が行われ、12人の議員が登壇し市政全般にわたる議論が展開されました。最終日の13日には、委員会から2件の発議案が提出され、原案のとおり可決されました。

平成22年 第4回定例会

各会計補正予算、条例の 制定など11議案を可決・同意

議案の内容と審査結果

◆議案第2号

平成22年度旭市国民健康保険事業特別会計補正予算の議決について (可決)

事業勘定の歳入歳出にそれぞれ1億6700万円を追加し、事業勘定の総額を86億700万円とするものです。

条例の制定・一部改正

◆議案第3号

旭市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定について (可決)

地方公共団体の一般職の任期付職員の採用に関する法律に基づき、高度の専門的な知識経験または優れた識見を有する者等を専門的かつ一時的な業務に従事させる場合などに任期を定めた職員を採用することについて、必要な事項を定め、新たに条例を制定するものです。

◆議案第4号

旭市議会議員の議員報酬及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例の制定について (可決)

◆議案第5号

旭市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について (可決)

◆議案第6号

旭市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について (可決)

一般職の職員の給与改定に併せて所要の改正を行うものです。

◆議案第7号

旭市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について (可決)

人事院勧告及び千葉県人事委員会勧告の趣旨に基づき、所要の改正を行うものです。

その他の議案

◆議案第8号

旭市定住自立圏形成方針の変更について (可決)

定住自立圏構想推進要綱第5の(4)に定める定住自立圏形成方針を変更するにあたり、地方自治法第96条第2項の規定による議会の議決すべき事件を定める条例の規定により議会の議決を求めるものとす。

◆議案第9号

東総地区広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更及び東総地区広域市町村圏事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について (可決)

国の広域行政圏計画策定要綱及びふるさと市町村圏推進要綱が廃止されたことに伴う規約改正を行うにあたり、あらかじめ関係地方公共団体の議会の議決を求めるものです。

人事

◆議案第10号

人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて (同意)

現委員のうち平成23年3月31日をもって任期満了となる委員の後任の委員候補者を法務大臣に推薦するにあたり、議会の意見を求めるものです。

次の方が全員賛成で同意されました。
新任 宮本 英一 氏(下永井)



第4回定例会の議場内の様子

工事請負契約

◇議案第11号

工事請負契約の締結について（可決）

道路新設工事（橋梁下部工）について一般競争入札を執行し仮契約を締結したので、この契約について議会の議決を求めるものです。

- ・契約金額 1億1067万円
- ・契約方法 一般競争入札
- ・契約の相手方

旭市二の528番地
阿部建設 株式会社

委員会提出議案

◇発議第1号

T P P 交渉参加反対を求める意見書の提出について（可決）

◇発議第2号

細菌性髄膜炎を予防するワクチンの早期定期予防接種化を求める意見書の提出について（可決）

主な議案質疑

議案第1号

Q 総務関係職員給与費で、給与費が減っている中、なぜ共済費が増えているのか。

A 給与費で一括計上している追加費用というものがあり、この追加費用が増額になったため今回補正をするものです。

Q 土木費の南堀之内バイパス整備事業で、物件調査費が多額になるが、補助金等の関係は。

A 社会資本整備総合交付金で55%が補助金、残りは合併特例債を使用するので、単費分は幾らでもないと思います。

議案第2号

Q その他一般会計繰入金で昨年の決算では2億7000万円と、今年の当初予算と大差はないが、なぜ5億円も一般会計から繰り入れしなければならぬのか。

A 普通調整交付金等を含めて国庫支出金が1億4300万円の減少、前期高齢者交付金の平成20年度の精算額の確定による4817万9000円の減少、21年度の繰越金の1億6917万5000円の減少が歳入として見込まれました。

歳出においては、医療費推計で4月支払い分から半年間計算して、医療費の増加が見込まれ、保険給付費の1億8700万円の増加が見込まれることから、総的に5億円の赤字が見込まれ、一般会計から繰り入れをしたものです。

議案第3号

Q 県内でも専門職の任期付職員の採用が増えていくが、どのような職種を何人くらい、そして採用の時期と目的は。

A 現在、千葉県警察本部が実施している自治体への派遣制度があり、再任用警察官の派遣を要望しています。これらの要望の内諾が得られた場合には、本条例を適用して、専門的知識、経験を有する人材として採用し、来年の4月から再任用警察官1名を予定したいと考えています。

議案第9号

Q 東総地区広域市町村圏事務組合の規約改正で「計画の策定及びその実施のための連絡調整」がなぜ「事業の実施」になったのか。

A 今回の改正は平成21年3月31日をもって国のふるさと市町村圏推進要綱が廃止されたことに伴い、改正を行うものです。

第4回定例会の日程

11月26日(金)	(開会)
・会議録署名議員の指名	
・会期の決定	
・議案の上げ	
・提案理由の説明並びに政務報告	
・議案の補足説明	
11月30日(火)	
・議案の質疑	
◇追加日程	〈討論・採決〉
・常任委員会へ議案・請願を付託	
12月2日(木)	
・市政に関する一般質問	
12月3日(金)	
・市政に関する一般質問	
12月7日(火)	
・建設経済常任委員会	
12月8日(水)	
・文教福祉常任委員会	
12月9日(木)	
・総務常任委員会	
12月13日(月)	
・常任委員長の議案・請願報告	
	〈質疑・討論・採決〉
◇追加日程	
・議案の上げ	
・提案理由の説明	
・議案の補足説明	
	〈質疑・討論・採決〉
・発議案の上げ	
・提案理由の説明	
	〈質疑・討論・採決〉
・事務報告	
	(閉会)

請願の審査結果

第4回定例会では、請願2件の審査が行われました。審査の結果は次のとおりです。

区 分	件 名	審査結果
請願第3号	細菌性髄膜炎を予防するワクチンの早期定期予防接種化を求める国への意見書提出を求める請願	採 択
請願第4号	T P P 交渉参加反対に関する請願	採 択

【第4回定例会】

一般質問

市政に関する一般質問は12月2・3日に行われ、12人の議員が登壇しました。
主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

現在の進捗状況は

道の駅

Q 道の駅構想について、現在どのくらいまで進んでいるのか。

A 平成22年5月に道の駅等設置推進委員会を発足し、現在まで5回にわたる会議を開催しています。

今後、具体的な検討に入るため、推進委員会を3つの分科会に分け、当地域の実情を十分踏まえた施設や用地、管理・運営等について議論を重ねていきたいと考えています。

建設に伴う影響は

Q 道の駅は民業圧迫にならないか。

A 現在、道の駅等設置推進委員会では議論していますが、商工会からは道の駅のように地元で大きな消費ができるような施設を早く造ってほしいという意見をいただいています。

経費の削減は

財政

Q 経常的経費の削減はしているのか。

A 経常的経費の削減で最大のものは、職員数減による人件費の減です。

削減額は、平成18年度から21年度の4年間の累計額で21億円ほどであり、採用も計画的に取り組んでいます。

旭駅周辺に駐車場を

まちづくり

Q 旭駅の利便性を高めるため、商工会館北側のスペースを、イベント期間を除いた時期に、駐車場として有料で利用できるようなにならないか。

A 仮に市が駐車場を設置する場合に、整備工事費や維持管理等の問題等、費用対効果を含め、総合的に考慮すると、現状では駐車場を整備することは難しい状況です。



J R 旭駅と駅前広場

旭駅にエレベーターの設置を

Q 旭駅にエレベーターを早期に設置ができないか。

A 平成22年7月にJR東日本千葉支社長を市長が訪問し、要望書を提出しています。今後、国の動向を見ながら、機会があるたびに整備要望を続けていきたいと思っています。

住宅リフォーム助成制度の検討を

Q 住宅リフォームの直接補助は、たぶんす預金を引き出したと言われるほどの驚くべき経済効果を上げています。住宅リフォームの助成を旭市でも検討していただきたい。

A 他の自治体における助成制度の実態やその背景などを調査していく

一般質問の質問事項

発言議員と質問事項を紹介します。

◆大塚祐司議員

- 1 地方交付税削減と旭市の経済について
- 2 道の駅について
- 3 海上キャンプ場について
- 4 光ファイバー敷設について
- 5 旭駅前の駐車スペースについて

◆高橋利彦議員

- 1 東総地区広域市町村圏事務組合について
- 2 広域ごみ焼却場建設について
- 3 国民健康保険について
- 4 職員採用について
- 5 行財政改革について
- 6 中央病院について

◆林七巳議員

- 1 入札について
- 2 地区懇談会について
- 3 飯岡西部区画整理について

◆向後悦世議員

- 1 市長の政治姿勢について

◆日下昭治議員

- 1 国民健康保険制度及び予算について
- 2 工事契約及び施工監理について

中で、現行制度との関係あるいは住民の公平性の観点からしっかりと検証を行っていく必要があると思っています。

光ファイバー敷設の進捗状況は

情報

Q 旧3町での光ファイバーの敷設を求める現在の署名の進捗状況は。

A 平成22年1月に海上・飯岡・干潟地区の区長会で要望書を取りまとめ、5月にNTT銚子営業支店長に対し、市長から早期着工のお願いと合わせて3地区の区長会長と商工会で約2400件の要望書を提出しました。その後、早期着工に向けて再度、区長会による取り組みを実施し、約1200件の要望書を提出しました。

要望書の総数は区長会や商工会で集めた分が約3600件、NTTに直接提出された分が約500件、合計で約4100件となっています。

専任の技術者の確認は

契約

Q 工事を契約する際に専任の技術者の配置を義務づけることがあるが、その確認及び審査方法は。また専任である以上、工事期間中は常に現場に張りついていると思うが、これについて問題視することはなかったのか。

業者から主任技術者及び監理技術者の専任通知書を提出の際、監理技術者資格者証（写真入り）も提出させています。また、監理技術者講習終了証（写真入り）と健康保険被保険者証の写しの提出を義務づけています。なお、工事が始まると週1回ほど工程会議や打ち合わせがあるので、間違いなく、それぞれが現場で専任で動いていたということです。



東総運動場の駐車場

東総運動場の駐車場の増設は

東総運動場

Q 市として県に対して駐車場の増設を働きかける考えはあるか。

A 業者から主任技術者及び監理技術者の専任通知書を提出の際、監理技術者資格者証（写真入り）も提出させています。また、監理技術者講習終了証（写真入り）と健康保険被保険者証の写しの提出を義務づけています。なお、工事が始まると週1回ほど工程会議や打ち合わせがあるので、間違いなく、それぞれが現場で専任で動いていたということです。

市長のかかわり方は

いいおか荘

Q 新しいプランづくりには原案を市長が示したのか、それとも職員や運営委員会に全面的に任せたのか。

A 現在、市民感謝デーやレディースデー等の計画を立て、宿泊の数はかなり増えています。このような中で、支配人や運営委員会だけに任せていることは無く、いろいろ相談しながら今後もいいおか荘の運営にかかわっていききたいと思っています。

入札の種類は

入札

Q 入札の方法と落札について、また、今後の改善について伺います。

A 入札は大きく分けて3つで、一般競争入札とは不特定多数の者を競争させ、また、指名競争入札とは特定の者を指名して競争させ、最も有利な条件を提示した者を契約の相手方とします。

- 3 地区懇談会について
- 4 広報財政事情公表について
- ◆伊藤保議員
- 1 財政について
- 2 定員管理の適正度について
- 3 デイジー教科書について
- ◆滑川公英議員
- 1 文教民生について
- 2 産業活性化に向けてゆるキャラ、B級グルメについて
- ◆宮澤芳雄議員
- 1 千葉県総合スポーツセンター東総運動場について
- 2 大原幽学について
- ◆木内欽市議員
- 1 日本一住みよい街を目指してについて
- 2 ゲリラ豪雨対策について
- 3 道の駅構想について
- 4 環境対策について
- ◆島田和雄議員
- 1 TTP（環太平洋戦略的経済連携協定）について
- 2 戸別所得補償制度について
- 3 行政評価について
- 4 乳幼児医療費助成事業について
- ◆伊藤房代議員
- 1 小児用肺炎球菌ワクチン、ヒブワクチン予防接種について
- 2 高齢者肺炎球菌ワクチンについて
- 3 子宮頸がん予防ワクチン接種について
- 4 ジェネリック医薬品の利用について
- 5 旭駅のエレベーター設置について

随意契約とは入札を行わずに契約の相手方を選定する方法で、これは特殊な事例等で実施しています。

旭市では一般競争入札が原則で、130万円以上の工事はすべて一般競争入札で、平成22年6月からは電子入札により行っています。

改善策としては、平成19年度から一般競争入札を拡大して、委託、物品購入についても、順次拡大してきています。

採用試験の基準と手法は

人事

Q 1次試験の下限の点数はどのように決めるのか。また、2次試験の面接試験は、具体的にどのような方法をとっているのか。

A 1次試験は、採用予定人数のおおむね2倍から5倍の範囲を合格者としています。

2次試験（一般行政職）は、テーマを与え、グループに分けてのディスカッション方式の集団討論及び個人面接を実施しています。これらを総合して最終的に評定を行い、決定しています。

ゆるキャラ・

B級グルメの取り組みは

産業

Q 産業活性化に向け、ゆるキャラ・B級グルメをつくり、道の駅と

もに旭市を全国に発信する考えはあるか。

A 最初から市を代表するようなキャラクターをつくるのは非常に難しいと考えています。まずは、市のPRビデオに登場させたり、道の駅など一つの事業・イベントなどをPRするためのポスター等に使って、人気が出るようであれば、全市的に利用を検討していきたいと考えています。

B級グルメについては、現在、若い飲食店関係者を中心にB級グルメを立ち上げようと相談いただいています。将来的に地域経済の発展につながるよう、市としても支援していきたいと考えています。

イワシの活用を

Q 漁獲量が日本一のイワシを使って何かできないか。



福岡漁港で水揚げされるイワシ

A 市長からもすべて旭市で食べられるようにしたらどうだという提案があり、県の生産販売振興課に伝えて、施策をお願いしています。

行政評価の試行の取り扱いは

行政改革

Q 本年度、試行で行政評価が行われ、評価の低い事業をどう扱っていくのか。

A 今回の試行で評価の低い事業を即廃止あるいは削減されるとは考えておらず、評価後の議論が重要になると考えています。今回の評価結果は財政課にも報告し、担当課にもフィードバックしているので、新年度の予算要求にあたり担当課で十分に議論がされ、また予算査定の際でも議論されるものと考えています。

今回行った事務事業の評価については、ホームページで公開する予定です。

飯岡中学校建設のスケジュールは

教育

Q 飯岡中学校の建設のスケジュールを伺います。

A 飯岡西部土地改良事業の見通しがつき、今後、地元の皆さんや議員の皆さん方にもスケジュールをお知らせできる状況になると思います。

◆太田将範議員

- 1 環太平洋戦略的経済連携協定について
- 2 住宅リフォーム助成について
- 3 国民健康保険の患者負担について

発達障害に対する教育は

Q 発達障害の生徒の教育はどのように行っているのか。

A 各学校に特別支援教育コーディネーターを置き、該当する児童・生徒の把握とともに個々の支援計画を立て、特別支援学級への通級や通常学級の中での個別指導などに学校全体で取り組んでいます。教育委員会としても、教諭補助員の配置や担当者を派遣しての支援方法の助言等、必要な支援をしています。

デジィ教科書を取り入れては

Q 発達障害の児童・生徒に対し、デジィ教科書を取り入れる考えは。

A 本市では各学校の普通教室等に児童・生徒用のパソコンを導入済みです。発達障害に対する有効性や利便性をさまざまな角度から研究し、検討していきたいと考えています。

解説 デジィ教科書

通常の教科書の内容を、パソコンなどを活用して音声や文字で同時再生できるようにしたもの。

領土や国旗の教育方針は

Q 児童・生徒に日本の領土や国旗について、どのような教育方針で教えているのか。

A 文部科学省からの学習指導要領では、社会科、特別活動の授業で扱うこととなっています。

領土については、小学校第5学年の我が国の位置と領土を調べる学習の中で、我が国を構成する主な島の名称や位置を地図帳や地球儀などで具体的に調べる活動を行っています。

国旗・国歌の指導等については、それぞれの歴史を背景に長年の慣行により日章旗が国旗であり、君が代が国歌であることが広く国民の認識として定着していることを踏まえて、法律によって定められています。

市民体育祭の総括を

市民体育祭

Q 市民体育祭の総括について、お示し願いたい。

A 市内15小学校区対抗で、延べ5000名の市民の方々に参加いただき、盛会裏のうちに終了したところですが、反省会では、「組織づくりは大変だったがうまくいった」と地域を越えて成功した喜びの意見をたくさんいただきました。まさに、市民一体感の構築が図られたと感じています。

たと感じています。

第2回大会以降も今回の反省点を生かし、より多くの市民の方々が楽しんで参加できる体制をつくり、毎年、市民体育祭を開催していきたいと思っています。

予防接種の助成は

保 健

Q 小児用肺炎球菌ワクチン・ヒブワクチン・子宮頸がん予防ワクチン予防接種の公費助成はできないか。

A これらの予防接種は、平成23年1月より助成の実施を予定しています。対象年齢は、小児用肺炎球菌ワクチンとヒブワクチン接種は4歳までを助成対象とし、子宮頸がん予防ワクチン接種は中学1年生から3年生（平成23年度限り、高校1年生相当年も対象）を対象としています。助成額は、国の基準に基づき予定しています。

国保の広域化は

国民健康保険

Q 国では市町村国保の広域化を推進する方針であるが、本市としては今後どのように対処していくのか。

A 国の都道府県単位による広域化推進の方針を受け、千葉県では国保広域化等支援方針の策定作業をしています。これにより平成25年3月末までは各

市町村ごとの運営に対し、千葉県が指導・助言を行います。その後、国が目指している県が保険者となるような抜本的な改革が行われるか、後期高齢者医療のような広域連合方式となるのか、決定されると考えています。

一部負担金の減免に対する条項は

Q 国と旭市の国民健康保険における一部負担金の減免に対する条項の説明を求めます。

A 旭市国民健康保険条例施行規則第18条は、国民健康保険法第44条を受けての規定です。一部負担金の減免、免除及び徴収猶予の申請及びその証明書について規定し、特別な理由として風水害等で資産に重大な損害を受けた時などに一部負担金の減免、免除を行うことができる旨の規定です。

厚生労働省の通達とは

Q 今回の一部負担金の徴収猶予及び減免等の一部改正についての厚生労働省の通達と事務連絡について説明を求めます。

A 第一に、市町村国保の被保険者が医療機関窓口で支払う一部負担金を減免することについて、新たに収入減少の認定基準が定められました。

第二に、市町村国保の保険者が医療機関に代わり未収金を回収する保険者徴収制度の新基準を示したものです。これらは、医療機関側が未収金の十分な回収努力をすることが前提となります。

なお、市町村が滞納分の国保税と一部負担金の未収金を同時に強制徴収する場合、双方の合計額が強制徴収額を上回る場合には国保税が優先されます。

要望等についての取り組みは

地区懇談会

Q 地区懇談会での質問に対し、今後どのように取り組むのか。

A 市民の皆様からの意見、要望については、すぐに対応できるもの、中長期的に検討が必要なものなどに分類して、関係各課と協議して実現可能なものから対応しています。



海上公民館での地区懇談会

飯岡西部土地改良事業の 今後の進め方は

土地改良

Q 飯岡西部区画整理の遅れと今後の進め方について伺います。

A 遅れの原因は、同意取得において未相続の地権者の方々が県外に相当数おり、事業参加の同意に時間を要したためです。現在の同意率は相続人を合わせ96・3%で、耕作者の同意率は98・8%です。

今後は、事業参加者の同意を100%に近づけることが最重要課題と考えています。年度内には事業に入るべく地区界の測量が予定されています。地元工区の役員さん方にご協力をいただき、スムーズな事業施行に努めたいと考えています。

TPPに参加した場合の 影響は

農業

Q TPPに参加した場合、旭市にはどのような影響が予測されるのか、農産物の品目別に伺います。

A 旭市の農産物産出額418億3000万円に対し、TPPがそのまま導入された場合の国・県の試算に基づいてのシミュレーションでは138億8000万円が農業に対する影響額です。米は39億3000万円、豚は76億3000万円、乳用牛が11億4000万円です。

戸別所得補償制度の状況は

Q 本年度の戸別所得補償制度の実績と、また飼料用米について加入した農家と未加入の農家それぞれの所得を伺います。

A 平成22年の所得補償の加入農家は264件。対象農家は2654件で、約1割の農家が所得補償の恩恵を受けることになっています。

また、1町歩の農家で、飼料用米と食用米の所得補償を受けた場合、収入の総額は131万8280円。未加入の場合は121万6800円。約10万1000円程度の所得の差があると考えています。

有用微生物群を 活用しての環境対策は

環境

Q 環境問題でEM菌が注目されているようですが、市長は知っているのか。

A 今、全国各地でEM菌については研究されているという話を聞いており、その結果を見ながら行政で支援できるべきことは支援をしていきたいと考えています。

水質浄化やにおい対策に

Q 有用微生物やバクテリアなどを使って、水質の浄化やにおい対策など

の事例が各地で発表されています。農業や水産業にもよい影響があると思うがいかがか。

A 旭市は畜産が主要産業ですので、実態を調査し、畜産の方々に使っていたような方向で、担当課で頑張りたいと思います。

解説 有用微生物群（EM菌も含む）

乳酸菌、酵母、光合成細菌を主体とする有用な微生物の共生体で農業分野での土壌改良用として開発された微生物資材の名称。

広原地区の排水対策は

排水

Q 海上広原地区の排水対策について伺います。

A 平成23年度に県道飯岡停車場線から浜仙前に排水路を新たに設け、仁玉川上流に流す形で計画しており、これができれば、ある程度解消はできると考えています。

没後150年祭の 式典は

文化振興

Q 大原幽学先生の没後150年祭の式典を行う考えはあるか。

A 大原幽学先生は、世界で最初の農業協同組合である先祖株組合の結成、耕地整理、農業技術の指導を行った



国指定史跡の大原幽学遺跡「旧宅」

ほか、高い倫理と哲学に基づいた生活改善や換子教育等、今の世に必要な道徳教育を実践した郷土の偉人であり、旭市の誇りでもあります。活動の拠点となった長部地区の大原幽学遺跡史跡公園は国の指定史跡であり、大原幽学記念館を設置していますが、今後も、もっとPRをしていかなければならないと思っています。

幽学先生の功績を後世に伝えるため、没後150年を迎える式典については、今年度末で完了する大原幽学遺跡「旧宅」の半解体修理事業の竣工と併せて、地元保存会や関係する方々、市内有識者等で構成する実行委員会を立ち上げ、1市3町合併後から初めての周年事業であり、大勢の皆さん方を集めていただきたいと思います。

中央病院での ジェネリックの選択は

中央病院

Q 中央病院では、ジェネリック医薬品の利用の選択はできるのか。

A 国の方針に従って極力使うような方向で進めています。現時点では、金額ベースで8%がジェネリック医薬品を使っています。外来では、現在、選ぶことはできませんが、最も良い安い薬という方向で進めています。

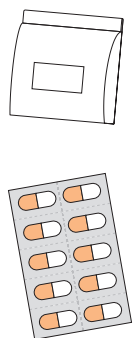
解説 ジェネリック医薬品(後発医薬品)

特許が切れた医薬品を他の製薬会社が製造あるいは供給する医薬品。先発薬と同等の有効成分で同等の効果があるにもかかわらず、価格が安い。

薬剤部門の今後の方針は

Q 薬剤部門の今後の方針とともに、今なぜ調剤薬局開設のための申請が多く出ているのか。

A 現時点で直ちに院外へ移行することとは考えていません。院外処方の問題については待ち時間の問題等を含め、患者さんにとってメリット・デメリットがあり、これらを総合的に判断して検討していくべきものと考えています。



常任委員会の審査

建設経済常任委員会

12月7日(火)午前10時より本委員会が開催され、付託された1議案の審査を行いました。

議案第1号平成22年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち本委員会所管事項についての審査では、「土木費の南堀之内バイパス整備事業について公有財産購入費として3000万円計上しているが、道路として何メートルくらいに



建設経済常任委員会審査の様子

なるのか。また、土地買収の際、意に沿わない土地の端数については、どう処理するのか。」との質疑があり、「公有財産購入費については、今年度の予定として地権者は8名くらいで、用地買収としては26筆くらいを計画しており、道路の長さまでは計算していない。また、土地買収の際に生じる端数の土地については、その面積にもよるが、市のほうで買うような形になると思う。」との答弁がありました。

審査の結果、全員賛成で原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、請願第4号T P P交渉参加反対に関する請願についての審査では、全員賛成で採択と決しました。

委員会の審査終了後、榑千葉県食肉公社の施設などを視察しました。

文教福祉常任委員会

12月8日(水)午前10時より本委員会が開催され、付託された2議案の審査を行いました。

議案第2号平成22年度旭市国民健康保険事業特別会計補正予算の議決の審査では、「一般会計からの繰入金について、近隣の状況はどうなっているのか。また、保険税の見直しをする予定はあるのか。」との質疑では、「近隣の状況については、



文教福祉常任委員会審査の様子

平成21年度実績で、匝瑳市が3億円、東金市が1億8000万円ほどであり、県内36市中、27市が繰り入れている状況にある。また、保険税の見直しについては、医療給付費の伸び等を踏まえ、現在、試算をしているところである。」との答弁がありました。

その他質疑を尽くし審査の結果、2議案とも全員賛成で原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、請願第3号細菌性髄膜炎を予防するワクチンの早期定期予防接種化を求める国への意見書提出を求める請願についての審査では、全員賛成で採択と決しました。

委員会の審査終了後、恵天堂特別養護

老人ホーム等の施設及び入所状況について、視察しました。

総務常任委員会

12月9日(木)午前10時より本委員会が開催され、付託された4議案の審査を行いました。

議案第8号旭市定住自立圏形成方針の変更についての審査では、「定住自立圏共生ビジョンの進捗状況と、どんな事業を計画しているのか。」との質疑では、「定住自立圏共生ビジョン策定のための懇談会を2回開催しており、主な意見としては、道の駅や企業誘致、また特産品開発や観光情報発信など、経済効果につながるやり方等について検討してほしいという意見があった。今後の予定については、12月15日に最終段階の定住自立圏共生ビジョンの案を提示し、平成23年3月に承認をいただくということで、事業計画としては約30事業を考えている。」との答弁がありました。

議案第9号東総地区広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更及び東総地区広域市町村圏事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議の審査では、「この改正の中に、計画の策定及びその実施のための連絡調整とある部分を事業の実施に改めるという部分があるが、どんな事業を行うのか。」との質疑では、「今回の改正については、ふるさと市町村圏という国の制度が廃止されたことに伴うもので、この制度で実施され

ていた事業を当面、組合の事業として実施していくものである。現在、組合で行っている事業については、市単独で行うよりも広域で行ったほうが効率的というところから、職員採用試験や中学生海外派遣研修事業、また銚子連絡道路早期完成に伴う諸事業や、ごみ処理施設建設などである。」との答弁がありました。

その他、質疑を尽くし審査の結果、議案第3号は賛成多数で、その他の3議案については全員賛成で、原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員会の審査終了後、香取市小見川区事務所の機能状況について視察しました。



総務常任委員会審査の様子

行政視察報告

議会運営委員会

議会運営委員会は11月9日から11日の3日間にわたり、広島県大竹市、山口県周南市を行政視察しました。

大竹市では、議会改革について、議員定数、委員会制度の改善と運営、一般質問の進め方等を研修しました。

議員定数は2名削減。安心安全対策特別委員会とまちづくり対策特別委員会の2つの特別委員会を設置していました。

また、予算計上前に市から説明を受け、議会としての意見をまとめ、市長の提案に対して、個別の是非だけでなく、市長と議会が政策決定に積極的に関与していくことを改革のひとつのメインテーマとしています。

一般質問については、一括方式と一問一答方式を選択できるように改正。併せて市長に反問権を付与し、9月定例会では、質問の趣旨を確認することで終わりましたが、今後、議会の充実が深められると感じました。本市でも、今後検討する必要があると思います。

山口県周南市でも、議会改革の取り組みについて研修しました。

議長選挙は立候補制を導入しており、全員協議会で立候補しているとのことでした。

なお、改革の一環として委員懇談会が



大竹市議会にて説明を受ける議会運営委員

開かれ、議案の審査、所管事項の調査等に対して、市民からも意見を聞いた上で、審査が行われています。

また、徳山中央病院の休日・夜間こども急病センターも併せて視察しました。一次救急、二次救急は病院に併設すべきという運動が高まり、新市長、新病院長の誕生を契機に、徳山中央病院内に移設されました。

最終日は、道の駅きららあじすを視察しました。各種直売コーナー、工房等があり、多くの利用者で賑わっていました。

本市でも道の駅等の設置について検討されていますが、出資者等についても検討すべき課題であると委員から意見がありました。

総務常任委員会

総務常任委員会は、10月27日から29日の3日間にわたり、滋賀県長浜市、彦根市、岐阜県大垣市を行政視察しました。長浜市では、長浜市本庁舎整備基本構想について視察しました。

長浜市の本庁舎本館は、昭和27年に建設されて以来、50年以上が経過し、耐震性をはじめとし、老朽化・分散化・狭あい化など、様々な問題を抱え、市民に大



長浜市役所前にて（総務常任委員）

変不便をかけている状況とのことです。庁舎問題について、市民の代表等による検討委員会や市議会の委員会等で様々な検討を重ね、長浜市本庁舎整備基本構想を平成22年8月にまとめました。新庁舎は新たに土地購入はせず、市民病院跡地を活用することで経費節減に努めました。

概算の総事業費は67億円で、財源内訳は合併特例債28億円、国庫補助金7億円、庁舎建設基金24億円、一般財源8億円で平成25年度中に竣工する計画です。市が取り組んでいる「にぎわい再生事業補助金」を活用し、補助金の終了年度である平成25年度を目標に竣工させるとのことです。なお、合併特例債がなければ、庁舎建設はできなかったとの説明がありました。

本市でも、庁舎建設を行う場合は、有利な財源が活用できる時期に整備を行うことを検討すべきと感じました。

彦根市では、定住自立圏共生ビジョンの概要について視察しました。

市は今回の定住自立圏構想を策定するにあたり、副市長を総務省から迎え入れ、国の情報をいち早くキャッチし、構想に反映させました。

定住自立圏構想に係わる事業は、生活機能の強化・結びつきネットワークの強化・圏域マネジメント能力の強化で5年間の総事業費は圏域全体で175億円と驚くほどの事業規模となっています。これらの取り組みは、国の制度を十分活用し、市の活性化に努め、事業計画に組み入れたものと見受けられます。

本市においても、市の活性化が図られる事業を取り入れ、共生ビジョン策定に取り組みべきと思います。

大垣市では、行政評価システムの概要について視察をしました。

市では、従来の事務事業評価と新たな施策評価及び市民意識調査による行政評価を平成20年度から実施しました。

また、平成22年度から事務事業評価の低かった事業に対して、行政改革推進室から事業見直し計画書を担当課に送り、具体的な改善及び予算反映に向けた取り組みについてのプロセスを明確化しました。

大垣市の行政評価システムは継続していくことで、市民参加型の行政評価制度になると思います。

文教福祉常任委員会

文教福祉常任委員会は10月20日から22日の3日間にわたり、沖縄県名護市、那覇市、EM研究機構を行政視察しました。

名護市では、市長の公約で「子ども夢基金」を設立し、興南高校硬式野球部の全国大会優勝の経緯もあり、子ども夢基金が活発化しました。部活動が活発化することにより、不登校の児童生徒が減少しているとの説明がありました。旭市の教育も、部活動の充実が求められると思いました。

また、北部生涯学習推進センターを視察しました。この施設は、生涯学習や地域振興に資する人材の育成などを目的と



北部生涯学習推進センターで説明を受ける文教福祉常任委員

しています。建設費は15億5000万円、宿泊研修もできる素晴らしい設備を備え、多岐にわたる活発な活動が行われ、市民の可能性を導くことにつながっていると感じました。主な事業は、産業支援機能、カルチャー機能、キャリアサポート機能の3つです。

産業支援機能として、情報・金融や農業・観光など産業ニーズにマッチした実践的な研修を実施、カルチャー機能は教養講座で、学芸・趣味など多岐にわたる講座や免許・資格習得の講座を開設しているそうです。また、キャリアサポート

機能では、学生や求職者が必要な知識や技術の習得をサポートする事業を実施しています。

北中城村にあるEM研究機構では、微生物処理による消毒及び浄化槽処理について説明を受けました。自然の浄化機能を回復しながら、池や川、飲料水等の環境保全に旭市でも導入を検討すべきと感じました。

那覇市では、地方独立行政法人那覇市立病院を視察しました。地方独立行政法人化は多くの問題を抱えており、非常に難しく、導入には慎重を期する必要があると思いました。

このたびの視察は、旭市の施策に反映させることが多い、有意義な研修であったと思います。

議会を傍聴しませんか

第1回定例会は2月28日(月)から行われています。

議会開会中は、議会を傍聴することができます。一般質問は3月7・8日に予定しています。希望される方は、市役所3階までおいでください。

なお、市役所本庁と各支所ロビー、海上・干潟公民館、飯岡福祉センター、総合体育館のテレビで、本会議の様様を放映しています。

また、市ホームページでは議会ライブ中継をしています。ご利用ください。

☎ 62-5304 FAX 62-5384

議会のうごき

平成22年9月1日以降の

議会のうごき

〈9月〉

- ・市内中学校体育祭
- ・市内小学校運動会
- ・平成22年度旭市敬老大会
- ・(社)旭青年会議所9月第2例会
- ・ゆめ半島千葉国体総合開会式
- ・第5回あさひのまつり
- ・あさひ学友会第17回定期総会
- ・ゆめ半島千葉国体卓球競技会オープニングプログラム

〈10月〉

- ・干潟町中央保育園秋季大運動会
- ・うなかみ幼稚園運動会



第1回旭市民体育祭（平成22年10月17日開催）

- ・ゆめ半島千葉国体卓球競技会総合表彰式

- ・ゆめ半島千葉国体総合閉会式

- ・第72回全国都市問題会議

- ・あさひこひつじ幼稚園秋季運動会

- ・平成22年9月東総地区広域市町村圏事務組合議会定例会

- ・千葉県北総地区市議会正副議長会議員研修会

- ・第1回旭市民体育祭

- ・第172回千葉県市議会議長会定例総会

- ・平成22年度第21回旭市秋のへら鮎釣り大会表彰式

- ・旭市老人クラブ連合会第4回パークゴルフ大会

- ・おたつしゃ会

- ・旭中央病院剖検御協力者追悼式

- ・第3回向太陽杯（パークゴルフ大会）

- ・平成22年度千葉県北総東部四市議会正副議長会定例会・研修会

- ・(株)千葉県食肉公社畜霊祭

- ・〈11月〉

- ・平成22年11月東総広域水道企業団議会定例会

- ・千葉県北総地区市議会正副議長会職員研修会

- ・長熊釣堀センター秋のヘラブナ釣大会表彰式

- ・旭市ふるさとまつり・ひかた2010

- ・平成22年度旭市青少年意見発表大会

- ・第6回文化講演会

- ・旭市菊花大会表彰式

- ・旭中央病院附属看護専門学校48回生戴

帽式

- ・平成22年度第1回旭市老人クラブ連合会海上支部スカットボール大会

- ・(財)旭市福祉協合理事会

- ・旭市都市計画審議会

- ・受賞者を称える会

- ・旭市エンジョイパトロール隊集団防犯パトロール出発式

- ・第6回旭市社会福祉大会

- ・海上産業まつり「ふるさとふれあいフェスティバル」

編集後記

あさひ「議会だより」の発行も、おかげさまで第20号となりました。感謝の思いでいっぱいです。ありがとうございます。

委員、一人ひとりが少しでも市民の皆様に喜んで読んでいただけるように、創意工夫をしながら紙面づくりに努力してまいりました。

これからも委員一同、力を合わせて一生懸命がんばってまいります。

ご意見、ご感想をお待ちしております。

（編集委員長 伊藤 房代）

旭市議会だより編集委員会

委員長	伊藤 房代
副委員長	宮澤 芳雄
委員	島田 和雄
委員	大塚 祐司